

訂正

添付した岡山県農林漁業功労者表彰受賞者一覧のうち、農林水産部長表彰農産部門受賞者の功績概要に誤りがあったため、訂正します。

【岡山県農林漁業功労者表彰受賞者一覧（農林水産部長表彰）No.7（抜粋）】

（誤）令和5年には県下初の土地改良区女性理事に就任し、

（正）令和5年には土地改良区理事に就任し、

（令和7年11月21日）

令和7年11月11日

課 名	農政企画課
担 当	北谷・伊丹
内 線	3711・3713
直 通	086-226-7413

お 知 ら せ

令和7年度（第58回）岡山県農林漁業功労者表彰の 受賞者が決定しました！

県では、本県農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著で優秀と認められる個人又は団体を表彰する「岡山県農林漁業功労者表彰」について、今年度の受賞者を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

1 受賞者 別紙のとおり

（参考）表彰状況

部 門	表 彰 区 分	
	知 事 表 彰	農林水産部長表彰
農 産 部 門	9	13
畜 産 部 門	1	3
土 地 改 良 部 門	1	3
林 業 部 門	-	-
水 産 業 部 門	-	-
団 体 指 導 者 部 門	1	1
農山漁村活性化部門	-	1
計	12	21

2 表彰式

日時 令和7年12月24日（水）10：00～11：00

場所 県庁3階 大会議室

（岡山市北区内山下2－4－6）

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	いしぐろ さつき 石黒 五月 (75歳) 瀬戸内市	農 業	平成4年～令和2年 岡山県農業士 平成23年～現在 瀬戸内市農業委員 令和7年～現在 瀬戸内市土地改良区 監査委員	令和2年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
<功績概要> 瀬戸内市邑久町でトマト、水稻、養蜂の複合経営に取り組んでいる。 トマトでは地域の中核的存在となっているほか、水稻では大型機械化一貫体系を確立しており、県の採種事業においても中心的な役割を担っている。 トマト栽培においてハウス内環境制御による高品質生産を実践しているほか、地元関係者と共に伝統野菜「備前黒皮かぼちゃ」の復活と生産拡大に尽力し、令和6年の地理的表示（G I）の登録に貢献した。 さらに、令和7年からは土地改良区の監査委員を任されており、荒廃地対策や新規栽培者への農地情報の提供など、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	いとう ふみひと 井藤 文仁 (66歳) 真庭市	農 業	平成22年～27年 蒜山ミニトマト部会協議会 会長 平成28年～現在 蒜山大根部会協議会 会長 令和6年～現在 蒜山地域園芸振興協議会 会長	令和3年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
<功績概要> 真庭市蒜山でだいこん、ミニトマトの複合経営に取り組んでいる。 夏だいこんの補完品目として導入したミニトマトの産地発展と野菜複合経営の確立に貢献し、現在も地域目標を上回る所得を確保している。 ミニトマトの新規就農者に対し、技術面や生活面の助言・指導により部会の主要な生産者に育成するなど、担い手の育成に貢献している。 また、令和6年からは蒜山地域園芸振興協議会の会長に就任し、ミニトマトの高温対策実証に積極的に協力するなど、園芸品目の安定生産と地域農業の発展に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	いわさき のぶよし 岩崎 信義 (78歳) 岡山市	農 業	平成15年～24年 岡山県農業士 平成19年～令和6年 J A岡山青果物生産組合小串支部 支部長 平成28年～現在 J A岡山青果物生産組合 副会長	令和4年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
<功績概要> 岡山市でキャベツ、レタス、水稻、W C S用稲等の複合経営に取り組んでいる。 露地野菜を中心に、高い技術と雇用労力の活用により、地域屈指の大規模経営を実現するとともに、W C S用稲を栽培して、堆肥を還元する耕畜連携を実践しており、令和5年以降も栽培面積を拡大している。 キャベツを端境期に出荷できる新たな作型を開発して地域に普及させているほか、地域に先駆けて導入した「生分解性マルチ」のコスト削減のために共同購入体制を構築するなど、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	かやはら ひろかず 茅原 弘和 (55歳) 総社市	農 業	平成24年～現在 福井新田茄子生産組合 組合長 平成28年～令和6年 吉備路園芸振興部会 部会長 平成30年～現在 岡山県農業士	令和3年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
	<功績概要> 総社市でなすの周年栽培に取り組んでいる。促成なす栽培の省力化を図るため、令和4年度から単為結果性品種の試験に取り組み、その成果は令和7年度から全組合員が導入する礎となっている。また、実務研修生の受入農家として新規就農者の育成に貢献し、就農後も早期経営確立に向けた支援を継続している。 令和5年以降は各種団体の役職として、農産物の生産・出荷販売対策、産地の担い手対策を行政や農業団体と連携して推し進めており、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	こばやし みとじ 小林 三十二 (68歳) 高梁市	農 業	平成25年～30年 J Aびほく桃部会 部会長 平成27年～現在 岡山県農業士 令和元年～現在 高梁市認定農業者協議会 会長	令和4年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
	<功績概要> 高梁市でもも栽培に取り組んでいる。早生、中生品種に加え、県が育成した「白皇」など複数の晩生品種を導入することで長期安定出荷を実現し、高い技術力は他の部会員の模範となっている。 部会内の「担い手グループ」においてリーダー的役割を担っており、新規栽培者に対して積極的に助言するなど、部会の将来を担う人材の育成に貢献している。 また、高梁市認定農業者協議会長に加え、高梁市農業再生協議会等の役員としても活躍しており、地域計画の策定に向けた協議に関わるとともに、令和7年からはJ A晴れの国岡山びほく担い手協議会長として、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	さとう たまき 佐藤 珠貴 (65歳) 勝央町	農 業	平成23年～令和4年 勝央町農業委員 平成27年～現在 岡山県農業士 令和2年～現在 勝央町ぶどう部会 副部会長	令和3年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
	<功績概要> 勝央町でぶどう栽培に取り組んでいる。自らも高品質生産を実現しつつ、ぶどう部会の副部会長として、部会員の栽培技術の高位平準化に貢献している。 令和6年にハウスを拡大して所得を向上させるなど、生産振興に積極的に取り組む姿勢は地域の模範となっている。 また、「シャインマスカット」の冷蔵出荷に率先して取り組んでおり、現在も安定した貯蔵方法を研究するなど、部会員の所得向上に尽力している。さらに、体験研修や実務研修の受入農家となり、令和3年以降に受け入れた研修生全員が新規就農するなど、担い手の確保・育成に貢献しており、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	たなべ ふみお 田辺 文男 (67歳) 倉敷市	農 業	平成25年～現在 就農アドバイザー 平成28年～31年 玉島北園芸協会 会長 令和7年～現在 玉島北園芸協会桃部会 園地流動化委員	令和元年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
<功績概要> 倉敷市玉島でもも、水稻の複合経営に取り組んでいる。ももの長期安定出荷と高品質生産、さらに労働生産性を考慮した水稻との組み合わせは、地域における大規模複合経営のモデルとなっている。 玉島北園芸協会桃部会の役員として、園地の流動化や初心者研修会など、新規参入者の受入体制整備に尽力している。その結果、令和元年以降、部会では14名の新規就農者を確保し、自らも受入農家として研修生を就農へと導いている。 令和6年までは部会の顧問として、現在は園地流動化委員として、産地計画の策定に関わるなど、産地の継続的な発展に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	のせ ひでこ 野瀬 秀子 (74歳) 総社市	農 業	平成16年～令和2年 岡山県農業士 平成20年～21年 秦果樹生産出荷組合 副組合長 平成26年～現在 秦果樹生産出荷組合 担い手チーム員	令和2年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
<功績概要> 総社市でぶどう栽培に取り組んでいる。令和2年以降、更に面積を拡大して所得を向上させ、規模拡大を志向する組合員の模範となっている。 新規就農者等へ技術を継承するため、令和5年からハウス内環境データの収集、蓄積、分析に取り組むほか、令和6年からは、自身のほ場内で調査した害虫発生状況を組合内で情報共有するなど、組合全体の品質向上やブランド力の向上に貢献している。 さらに、実務研修生の受入農家として、新規就農者の育成にも貢献しており、産地の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	ものべ てつや 物部 徹也 (57歳) 高梁市	農 業	平成10年～現在 就農アドバイザー 平成29年～現在 平川村定住推進協議会 副会長 令和7年～現在 JA晴れの国岡山びほく担い手協議会 備中支部 副支部長	令和3年 岡山県農林漁業功労者表彰（農林水産部長表彰）
<功績概要> 高梁市でぶどう、水稻の複合経営に取り組んでいる。省力化技術を積極的に導入しつつ、複数の品種と作型を組み合わせたぶどうの大規模経営モデルを確立している。 ハウス自動開閉装置の導入等によるさらなる省力化や着色促進剤の試験導入など、常に新たな取組を進めるとともに、自身の所得もさらに増加させており、ぶどう経営の優良モデルとして若手農家の目標となっている。 また、「平川村定住推進協議会」の副会長として、新規就農者の定住に向けたきめ細やかなサポートを積極的に行っているほか、令和7年度からの新たな農地造成事業に当たって地権者との交渉に取り組むなど、地域の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
畜産部門	ひのき お やすとも 檜 尾 康知 (59歳) 勝央町	農 業 (酪農)	令和2年～令和6年 日本酪農青年研究連盟 委員長 令和6年～現在 おかやま酪農業協同組合 代表理事組合長 令和6年～令和7年 中国生乳販売農業協同組合連合会 副会長 令和7年～現在 〃 会長 令和6年～現在 一般社団法人岡山県畜産協会 副会長	令和4年 岡山県農林漁業功 労者表彰（農林水 産部長表彰）
<功績概要> 勝央町で酪農経営に取り組み、先端技術の導入による労働作業の軽減、県産飼料の積極利用による生産コスト削減など、乳質、収益ともに地域有数の農場へ成長させた経営手腕は県内酪農家の模範となっている。 また、おかやま酪農業協同組合の代表理事組合長として、組織体制のスリム化や関連団体への要請活動など、農家の立場に立った組合運営に尽力するとともに、酪農業の理解醸成に向けた情報発信を積極的に進めるなど、岡山の酪農業をけん引した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
土地改良部門	かたおか えいいち 片岡 榮一 (72歳) 岡山市	農 業	平成22年～平成30年 旭東土地改良区 理事 平成30年～現在 旭東土地改良区 理事長 平成14年～現在 岡山市水利監督員 平成26年～現在 岡山市農業水利土木員	令和3年 岡山県農林漁業功 労者表彰（農林水産部 長表彰）
<功績概要> 旭東土地改良区の理事及び理事長として、長年にわたり土地改良区の健全な運営に寄与するとともに、地域農業に大きな役割を果たしている土地改良施設の維持管理に取り組み、広大な受益地の農業振興に尽力している。 また、老朽化が進んでいた新堰・新地堰や排水機場の改修を進めるとともに、地区内の水路や樋門を計画的に補修整備しているほか、大雨が予想される場合には農業用水路の事前の水位低下による流域治水に積極的に取り組むなど、農業経営の安定や地域住民の安全・安心に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
団体指導 者部門	おぐら よしひろ 小 椋 美博 (67歳) 鏡野町	団 体 役 員	平成28年～現在 作州かがみの森林組合 代表理事組合長 平成30年～令和4年 岡山県森林組合連合会 監事 令和4年～現在 岡山県森林組合連合会 理事	令和5年 岡山県農林漁業功 労者表彰（農林水 産部長表彰）
	< 功績概要 > 作州かがみの森林組合の代表理事組合長に就任以来、補助事業や請負事業に積極的に取り組むとともに、森林資源データ等最新技術を活用し、効率的な林業経営体制を確立、組織・経営基盤の強化と健全な組合運営に取り組む、安定した黒字経営の維持、組合員への経済的地位の向上に努めている。 また、令和5年度に鏡野町が整備した「鏡野町貯木場」の運営を受託し、岡山県森林組合連合会のサテライト共販や合板会社への直接販売を併用し、材質に合わせた有利な販売を実践している。 さらに、令和6年度からは鏡野町と連携し、森林由来のJークレジット創出に係る取組に参加しており、地域の自然・森林を永続的に維持し、森林の公益的機能の維持増進に努めるなど、その功績は極めて大きく、県民の模範である。			

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	いしまる ひろあき 石丸 博明 (73歳) 笠岡市	農 業	令和 3 年～現在 JA晴れの国岡山笠岡ぶどう専門委員会 委員長 令和 3 年～現在 笠岡市シャインマスカット研究会 会長 令和 5 年～現在 農業共済組合 損害評価委員	
<功績概要> 笠岡市でぶどう栽培に取り組んでいる。「オーロラブラック」や「シャインマスカット」を地域に先駆けて導入し、地域に適した技術の確立に尽力している。優れた技術により高い秀品率を確保しており、他の生産者の模範となっている。 令和 3 年に生産組織の代表に就任し、自らのほ場を講習会場として提供するほか、新規就農者に自身の成木を管理させて栽培したり、グループLINE上でタイムリーな技術情報を発信したりするなど、献身的な活動は若手生産者の経営の早期安定に寄与している。 また、園地流動化にも精力的に取り組んでおり、令和 6 年には新規就農者への園地継承が実現するなど、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	いなおか さとみ 稲岡 郷三 (55歳) 美咲町	農 業	令和 4 年～現在 就農アドバイザー 令和 6 年～現在 JA晴れの国岡山中央ぶどう部会 部会長 令和 7 年～現在 JA晴れの国岡山つやま ブドウ部会連絡協議会 会長	
<功績概要> 美咲町でぶどう栽培に取り組んでいる。簡易被覆栽培と加温、無加温ハウスを組み合わせた大規模経営と、共進会でも高い評価を受ける技術力により高所得を実現しており、地域の経営モデルとなっている。 令和 2 年以降、部会のリーダーとして新規就農者からの相談に積極的に応じるほか、令和 6 年からは部会長として実務研修生を受け入れ、技術面だけでなく、就農予定地の確保や人脈づくりも支援している。 また、令和 7 年度に設立されたJA晴れの国岡山つやまブドウ部会連絡協議会の会長に就任する等、地域農業の振興、産地の維持・拡大に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和 7 年11月11日現在のもの

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	う の まこと 宇野 誠 (53歳) 倉敷市	農 業	平成28年～令和6年 就農アドバイザー 令和4年～現在 浅原園芸組合 組合長 令和6年～現在 岡山県果樹研究会もも部会 副会長 令和7年～現在 岡山県農業士	
	<功績概要> 倉敷市でも栽培に取り組んでいる。省力機械等の導入や11品種を組み合わせた長期連続出荷体制の構築により高い農業所得を確保しており、若手生産者の模範となる大規模経営モデルを確立している。 令和6年からは岡山県果樹研究会もも部会の副会長として、県全体の栽培技術向上と、高度な技術の伝承に尽力している。 就農アドバイザーや県農業士として新規就農者の確保・育成に積極的に取り組んでおり、令和3年から受け入れた研修生を新規就農へ導くなど、担い手確保や地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
農産部門	お は ら こうすけ 小原 恒亮 (51歳) 鏡野町	農 業	平成24年～25年 鏡野町農業後継者クラブ泉会 会長 令和元年～4年 JA晴れの国岡山青壮年部津山支部 支部長 令和3年～現在 岡山県農業士	
	<功績概要> 鏡野町でトマト栽培に取り組んでいる。県内トップクラスの栽培面積で長期出荷を実現し、従業員を周年雇用しているほか、外国人材の受入や農福連携にも取り組んでいる。 平成29年には、施設を改修して換気効率の改善を図るとともに、環境制御機器による栽培環境の最適化や省力化を実現している。平成30年からは害虫対策として、トマトでは県内に先駆けて土着天敵を活用しており、環境に優しい栽培体系の確立と省力化に取り組んでいる。 また、令和3年から津山工業高等専門学校などと共同で「トマト自動集計秤」を開発した取組は、令和4年度全国知事会先進政策バンクにおいてデジタル部門優秀政策に選ばれるなど、DXにも積極的に取り組んでおり、地域農業を先導した功績は極めて大きく、県民の模範である。			

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	さこ 佐子 ゆかり (61歳) 真庭市	農 業	平成25年～現在 岡山県農業士 令和2年～3年 JA晴れの国岡山蒜山花卉部会 副部長 令和2年～現在 真庭市農地利用最適化推進委員	
<功績概要> 真庭市で花き、果樹、野菜の複合経営に取り組んでいる。県オリジナル品種のラークスパーやブルーレースフラワーなどの新品種を積極的に導入するほか、蒜山地域に対応した新技術を導入し、多品目栽培でリスク分散、労力分散を図り、地域でもトップクラスの経営を実践している。 その高い技術を近隣の新庄花き組合に対しても情報発信や技術指導するなど、真庭地域全体の花き産地の生産振興に寄与している。 平成13年に、女性農業者の技術習得や経営参画を目的とした勉強会を部会内に立ち上げたほか、平成25年からは県農業士、令和2年からは農地利用最適化推進委員として新規栽培者への農地情報の提供や栽培品目のアドバイスを行うなど、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	せお かずひろ 瀬尾 和弘 (62歳) 吉備中央町	農 業	平成30年～令和4年 JA岡山加茂川ぶどう部会 役員 令和5年～現在 JA岡山加茂川ぶどう部会 部会長	
<功績概要> 平成28年に県外から新規参入し、吉備中央町でぶどう栽培に取り組んでいる。乗用草刈機等の省力機械を地域でいち早く導入して効率的な経営を実践するとともに、地域トップクラスの高い秀品率も評価されており、地域のモデルとなる優良経営を確立している。 令和5年には、就農8年目にして部会長に抜擢され、部会役員の分業制を確立するなど、部会の活性化に取り組んでいる。 就農相談会等では、自身の経験に基づいて積極的に対応しており、育成した新規就農者の早期経営確立に向けて、技術指導や園地の確保に力を注いでいる。こうした取組は、所属部会が令和6年の日本農業賞大賞を受賞するなど高く評価されており、地域のリーダーとして尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	なかがわ ひろし 中川 浩志 (58歳) 新見市	農 業	令和元年～現在 就農アドバイザー 令和4年～現在 「豊永支え合いネット」 (地域運営組織) 地域振興部 役員 令和7年～現在 JA晴れの国岡山阿新ぶどう部会豊永支部 支部長	
<功績概要> 新見市でぶどう栽培に取り組んでいる。「ピオーネ」を主体として、部会平均の2倍を上回る栽培面積に加え、部会トップクラスの秀品率51%を実現し、地域の模範となっている。 令和4年からは県の実務研修等の研修生を受け入れており、就農希望者や新規就農者への技術指導に尽力している。 また、就農アドバイザーとして、豊永地区での農地や空き家に関する情報を収集・提供し、新規就農者等とのマッチングを複数成立させているほか、豊永地区Next産地づくりのキーマンとして活躍するなど、産地の維持発展に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	にしおか よしたか 西岡 良高 (77歳) 赤磐市	農 業	平成29年～令和7年 JA晴れの国岡山岡山東モモ部会 部会長 平成30年～令和3年 赤磐市農地利用最適化推進委員	
<功績概要> 赤磐市でもも、水稻の複合経営に取り組んでいる。ももは中生、晩生品種を中心とした大規模経営であり、高所作業車等の機械やY字樹形の導入などにより省力化を実現している。 高品質生産のため、選果データを活用した施肥やかん水施設の整備、排水対策の徹底を実践しており、地域の模範となっている。 また、令和元年以降、自身の経験をもとに部会内に研修生の受入体制が整備されており、担い手の確保に大きく寄与している。 さらに、令和3年には、県のハイブリッド産地育成推進事業に取り組むにあたり、部会長として部会内の意見集約や調整役を担うなど、産地の供給力強化に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	にしむら りょういち 西村 良一 (68歳) 真庭市	農 業	平成17年～21年 就農アドバイザー 平成21年～現在 岡山県農業士	
農産部門	のむら こういち 野村 幸市 (50歳) 高梁市	農 業	平成21年～26年 高梁地方新農業経営者クラブ 会長 令和5年～現在 高梁市農地利用最適化推進委員 令和7年～現在 JA晴れの国岡山びほく青壮年部 副部長	

<功績概要>

真庭市で水稻と作業受託、いちご等の複合経営に取り組んでいる。
水稻では地域の営農組合の役員として、設備投資と規模拡大を進め、近隣の個人農家や営農組合からも作業を受託するなど、地域において重要な役割を担っている。

いちごでは、地域に先駆けて高設栽培を導入し、令和2年からは「晴苺」を栽培している。環境制御装置を導入し高品質生産を実現しているほか、木質ペレットボイラーの導入による燃料コストの低減や、天敵利用技術の導入など、効率的かつ省力的な栽培体系を確立している。

さらに、真庭市が進める循環型農業に率先して取り組むほか、県農業士として地域の農業者の相談役となるなど、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。

<功績概要>

高梁市でトマトを柱とした複合経営に取り組んでいる。旧備中町が整備した営農団地における最初の入植者であり、定植時期が遅い作型の導入や、独自に開発した給液装置による施肥コストの低減を実現し、その技術は他の生産者や新規就農者の経営安定に寄与している。

また、自身の経験を活かした新規就農者等の受入体制の整備や、耕作放棄地対策としての和牛放牧に取り組むなど、地域農業の維持・発展に貢献している。

自身が受け入れた複数の研修生が令和5年に合同会社を設立してトマト経営を開始するなど、担い手育成や地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	みずた しゅうじ 水田 周二 (67歳) 勝央町	農 業	平成28年～現在 J A晴れの国岡山勝英作 州黒部会勝央支部 副会長 令和元年～3年 就農アドバイザー 令和7年～現在 J A晴れの国岡山勝英に じのきらめき部会 副会長	
<功績概要> 勝央町で水稻、黒大豆、作業受託の複合経営に取り組んでいる。 水稻では、多収で高温耐性に優れる「にじのきらめき」を令和6年に地域に先駆けて導入し、令和7年3月に設立されたJ A晴れの国岡山勝英にじのきらめき部会においては、副会長として他の農家へ多収技術を普及する役割を担っている。 黒大豆では、県全域で不作が続く中、土づくり等の基本技術の徹底やかん水等の適期管理により安定した収量を確保しており、地域の模範となっている。また、黒大豆産地を支えるため、新規栽培者を対象とした栽培講習会で講師を務めるほか、令和元年からは黒大豆枝豆専用品種の種子生産も担っており、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
農産部門	もりた としえ 守田 敏恵 (65歳) 岡山市	農 業	平成4年～令和6年 J A岡山女性部 班長 平成24年～現在 岡山市農業協同組合 総代 平成25年～現在 岡山県農業士	
<功績概要> 岡山市で水稻、大麦の複合経営に取り組んでいる。大型機械化一貫体系を確立させ、水稻、麦で県下屈指の大規模かつ優良な経営を実現している。 各種スマート農機を積極的に導入しているほか、乾田直播栽培を組み合わせ、作業の軽労化や省力化を図っている。 平成25年から県農業士として活動しており、また、J A岡山女性部班長や農協総代を歴任するなど、農業における女性活躍の模範となっている。 さらに、環境問題への意識も高く、稲わらの野焼き防止対策や、被覆肥料由来のプラスチック排出抑制対策の実証にも意欲的に協力するなど、地域農業の発展に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
農産部門	やまだ みゆき 山田 美幸 (68歳) 倉敷市	農 業	平成16年～現在 まび農産物生産組合 役員 平成30年～現在 岡山県農業士 令和5年～現在 上原井領土地改良区 理事	
	<功績概要> 倉敷市で軟弱野菜、水稻の複合経営に取り組んでいる。 こまつな等を年間通して学校給食へ安定供給して高い収益性を実現するとともに、太陽熱消毒や、有機資材を積極的に活用した土づくりにより、環境負荷の低減と高品質安定生産を実現している。 水稻では、平成30年7月豪雨を機に周辺の農地を引き受けて規模を拡大し、高い所得を実現しており、地域の農地を守る担い手として活躍している。 また、平成30年から県農業士として担い手の育成に貢献しているほか、令和5年には県下初の土地改良区女性理事に就任し、農業における女性参画の先駆者として、地域農業の振興に尽力した功績は極めて大きく、県民の模範である。			
畜産部門	かりや かずひろ 狩谷 和宏 (54歳) 真庭市	家畜人工授精師	平成24年～現在 岡山県家畜人工授精師協会 真庭支部 支部長 平成28年～現在 岡山県家畜人工授精師協会 会長	平成17年 岡山県家畜人工授精功労者表彰 平成29年 日本家畜人工授精功労者表彰
	<功績概要> 真庭市で家畜人工授精、受精卵移植業務に精力的に取り組み、家畜改良及び繁殖成績の改善を行うなど生産性向上に大きく貢献し、地域の畜産農家にとって欠かせない存在となっている。 また、岡山県家畜人工授精師協会会員として、家畜人工授精優良技術発表全国大会で発表を行うなど、探求心を持って自己研鑽に努める姿勢は他の会員の見本となっている。 会長に就任してからは他県の人工授精師協会長とも交流を深めるなど、活躍の場を県内外に広げており、岡山県の家畜改良に果たした功績は極めて大きく、県民の模範である。			

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名 (年 齢) 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
畜産部門	たにもと みつはる 谷本 光晴 (63歳) 笠岡市	農 業 (肉用牛)	平成18年～現在 農事組合法人笠岡湾干拓地 畜産生産組合堆肥舎部会 部会長 平成30年～現在 農事組合法人笠岡湾干拓地 畜産生産組合 理事 平成20年～平成30年 笠岡市バイオマス利活用 推進協議会委員	
	<功績概要> 笠岡市で肉用牛経営に取り組み、生産された牛肉を笠岡市、岡山市の直営飲食店で提供、人気を博しており、6次化による収益性向上のモデルケースとなっている。 また、肥育している交雑種雌牛へ和牛受精卵移植を実施し、雌産子を繁殖素牛として保留することにより、精力的に繁殖肥育一貫生産体制の整備に取り組んでいる。 さらに、笠岡湾干拓地畜産生産組合の堆肥舎部会長として、資源循環型農業の実現に貢献したほか、臭気改善に向けた取組にリーダーシップを発揮するなど、地域に果たした功績は極めて大きく、県民の模範である。			
畜産部門	やすとみ あきひと 安富 照人 (51歳) 岡山市	農 業 (酪農)	平成30年～令和元年 おかやま酪農業協同組合 青年部 委員長 令和3年～令和6年 おかやま酪農業協同組合 監事 令和6年～現在 〃 代表監事 令和4年～現在 吉備地区粗飼料生産組合 組合長	平成22年 矢野賞 平成24年 岡山県農林漁業近代 化表彰（有限会社安 富牧場） 平成30年 全国優良畜産経営 管理技術発表会 農林水産大臣賞
	<功績概要> 岡山市で酪農経営に取り組み、スマート技術の積極的な導入などによる長寿命、高乳量の牛群は優良経営のモデル農家となっている。 また、県下初の酪農家によるアイスクリームの製造販売を開始し、牛乳製造施設を設置して自社牛乳の販売を開始するなど、従来の酪農経営にはなかった形態を確立し、以降の県畜産農家による6次化振興に大きく貢献した。 さらに、吉備地区粗飼料生産組合を設立し、組合長に就任、70haの稲わらを収集して肉用牛農家等に供給するとともに、水田へは堆肥を還元するなど、地域へ果たした功績は極めて大きく、県民の模範である。			

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
土地改良 部門	なかはら はくお 中原 伯夫 (74歳) 倉敷市	団 体 役員	平成30年～現在 備南土地改良区 理事長	
<功績概要> 備南土地改良区の理事長として、健全な土地改良区の運営や積極的な女性役員の登用に尽力している。特に、平成30年7月豪雨の際には被災農家の賦課金を免除するなど、負担軽減を行った。 また、老朽化しているパイプラインの機能維持を図っているほか、関係機関との調整により新たな農地を編入することで地域の産地拡大に貢献し、地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
土地改良 部門	ふくだ しゅういち 福田 修一 (70歳) 津山市	農 業	平成21年～令和3年 近平用水土地改良区 理事 令和3年～令和7年 近平用水土地改良区 理事長	
<功績概要> 近平用水土地改良区の理事及び理事長として、健全な土地改良区の運営や土地改良施設の適正な管理に尽力した。 また、土地改良区が管理する水路は急峻な山腹に設置されており、土砂の流入防止対策や補修など、維持管理に多大な労力を費やしていることから、土砂の流入を防止する水路整備事業を実施し、農業経営の安定に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。				
土地改良 部門	ふじわら やすお 藤原 安生 (75歳) 岡山市	農 業	令和元年～令和7年 高崎土地改良区 理事長 平成29年～令和7年 岡山市第一農業委員会 委員 令和3年～現在 児島湾土地改良区 監事 令和3年～現在 高崎地域資源保全組合 代表	
<功績概要> 高崎土地改良区の理事長として、健全な土地改良区の運営や土地改良施設の適正な管理、積極的な女性役員の登用に尽力した。 また、県や周辺土地改良区との意見交換会を行うなど、地域全体の維持管理の体制を作るとともに、未整備の水路や老朽化している樋門の整備を行い、農業用水の安定供給に貢献した。 さらに、老朽化しているパイプラインの長寿命化対策の事業化に尽力し、農業経営の安定と地域農業の振興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。				

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	氏 名（年 齢） 住 所	職 業	主 な 公 職 歴	受 賞 歴
団体指導 者部門	もりたに ゆたか 森谷 豊 (66歳) 美咲町	団体 役員	平成28年～令和元年 久米郡森林組合 参事 令和元年～現在 久米郡森林組合 代表理 事組合長	
	<功績概要> 長年、久米郡森林組合の職員として手腕を発揮するとともに、令和元年に森林組合長に就任、その経験から得た知見を生かしながら、造林補助事業、おかやまの森整備公社等からの請負事業に積極的に取り組み、組合員の社会的、経済的地位の向上に努めてきた。 また、就業希望者に対しては、組合長自ら面談、住居等生活面をサポートするなど、積極的な作業員確保に尽力している。 さらに、美咲町と連携して、1日林業体験会、フォレストスクールなどを開催し、町民に対する森林・林業への理解促進に尽力するなど、その功績は極めて大きく県民の模範である。			

※年齢は、令和7年11月11日現在のもの

部 門	団体名・代表者・所在地	設立・構成	功 績 概 要
農山漁村 活性化部 門	いっばんしゃだんほうじん う じ ざっこくけんきゅうかい 一般社団法人 宇治雑穀研究会 代表者 もりた なかいち 森田 伸一 高梁市	平成24年 6 月 23名	もち麦加工品の開発や、もち麦を耕作放棄地等で栽培することによる農地の保全、各種イベントの開催による都市住民との交流などに取り組んでいる。 地元の小学校や大学などと連携した活動にも積極的に取り組み、もち麦は学校給食にも採用されている。 また、令和元年にはカフェをオープンし、高齢者の活躍の場の創出にもつながっている。 各分野の専門家を交えて特徴ある商品を生み出しているほか、定期的に経営状況を見直すなど、持続可能な組織運営を実現している。 これらの地域活性化に尽力した功績は極めて大きく、他の農産加工グループの模範となる組織である。